
管理局壊滅の危機！～伝説の宇宙戦艦と魔法少女たち 宇宙戦艦ヤマト×リリカルなのは予告

ハムカッタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時空管理局壊滅の危機！〜伝説の宇宙戦艦と魔法少女たち 宇宙戦艦ヤマト×リリカルなのは予告編

【Nコード】

N3377Z

【作者名】

ハムカッタ

【あらすじ】

J S事件を解決し平和を取り戻したかに見えた管理局。だが、その管理局の前に新たな危機が訪れる。

SUSと名乗る外部勢力の進行である。必死の抵抗もむなしく管理局はSUSに屈していく。

そんな中希望が現れる……

J S事件を解決し、平和を取り戻したミッドチルダと各管理世界。だが、その時空管理局に新たな危機が迫りくるうとしていた。

突如として音信が途絶える次元航行艦。

手掛かりはゼロの中唯一の手掛かりとも言える通信が壊滅した次元航行艦から発せれる。

「至急、管理局並びに付近を航行中の各艦船へ。こちら時空管理局第8次元航行艦隊所属のXV級次元航行艦ラティノア。パトロール行動中に本艦は所属不明勢力による軍事的攻撃を受けている、繰り返す本艦は、ウアアアツ!!!」

不吉な予言を行う騎士カリム。

「異界より現れし勢力。その者異質な力によりて、正義の法の大地を壊滅せん。立ち向かうものの邪悪な力を前に世界を管理するものの法の船無力なり。」

しかし、新たな異界より希望現れ撃退すべし。」

大胆な仮説を行うクロノ。

「騎士カリムの予言といい、あの次元航行艦からの通信といいまさか外部勢力が攻撃をしているんじゃない。」

その仮説は最悪の形であたってしまう。

「時空管理局並びに各管理世界へ告げる。我々は、ここより別の世界に位置する世界から来た恒星間並びに多次元を支配下に置くSUS政府の制圧軍だ。おとなしく我々の勧告に従い時空管理局並びに各管理世界は主権を全面的に放置し、我々SUS政府の植民地とな

れ。

もしこの勧告を無視するなら我々は全力を持って管理局並びに各管理世界の武力制圧を行う。我々は本気だ。」

初の外部勢力からの戦線不故国を受けることに動揺する管理局と市民たち。

混乱冷めやられる中、行われるSUS艦隊による攻撃。

次元航行艦の魔砲をもともしないSUS艦隊。

「ふん、この程度の攻撃が我々に効くものか。」

逆にSUS艦隊に敗北を喫する次元航行艦隊。SUS艦隊から放たれたミサイルが化学反応を起こし高熱で焼き付くし、粒子ビーム兵器が装甲を蒸発させてゆく。

燃え盛るミッドチルダ。ミッドチルダ制圧に派遣された上陸部隊と交戦する時空管理局。

「そんな、ヴィヴィオは、ほかのみんなはどうなったの。」

各管理世界も制圧されていく。そんな四面楚歌な状況の中希望が現れる。

その名は、宇宙戦艦ヤマト。そしてそれに率いられた地球防衛艦隊。

偶発的な次元震で現れた彼らだが、管理局の希望となれるのだろうか。

「なんだすって、SUSがこの世界を！！わかりました、艦隊指揮官として古代進は時空管理局と共同で対SUS戦に従事します！！」

SUSとの最終決戦の中、アルカンシエルをも凌駕する最強兵器が放たれる。

「波動砲発射あー!!」

宇宙戦艦ヤマト×リリカルなのは予告編

嘘です、やる予定はありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3377z/>

時空管理局壊滅の危機！～伝説の宇宙戦艦と魔法少女たち 宇宙戦艦ヤマト×

2011年12月11日17時49分発行